

## 第5期雄武町総合計画策定審議会専門部会報告（基本計画）

部会名【社会福祉・教育部会】

- 【部会長】 大瀧 政尚  
【部会長代理】 小林 雄司  
【部会員】 大井 忠幸、加藤 洋美、真田 一二、鈴木 秀子、  
津島 政司、横畠 靖

## 【会議開催状況】

- ・ 8月22日（地域交流センター） 7名出席

## 【審議結果】

## 《政策目標2 めくもり・雄武 ～保健・医療・福祉の充実～》

## 基本施策全般について

- ・ 雄武町でも「子ども見守り隊」という組織が出来ているので、こういった組織を支援する具体的な事業展開ということも期待したい。
- ・ 基本構想で表記（13ページ）されている“まちぐるみで見守り”では、高齢者や障がい者といった部分については、それぞれ基本施策として出てきているが、“子どもの見守り”といった部分についても、具体的内容が記載された方がよい。
- ・ 子どもに対する“まちぐるみの見守り”について、具体的な事業展開も含めた中で施策に反映する必要がある。

## 基本施策6 保健・医療の充実

- ・ 単位施策「(5) 地域医療体制維持の確立」について、地域医療の体制としては名寄や遠軽の病院もあるので、“道立紋別病院”に限定するのではなく、“他病院との広域的なネットワーク化”といったような記述にした方がよい。

## 基本施策9 障がい者支援の充実

- ・ 44ページの4番目の項目（の4つ目）について、“発達障がい者（児）の増加を受け”と表現しているが、“増加を受け”という表現はよくないと思う。“発達障がい”の定義は難しい部分なので、考慮が必要である。
- ・ 障がい者（児）の対応については、学校教育の中での整備とともに、次の段階（卒業後）での支援体制づくりが必要である。

### 《政策目標3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～》

#### 基本施策12 学校教育の充実

- ・教育については、学校だけに求めるのではなく、基本は家庭教育である。
- ・地域ぐるみで学校に関心を持ってもらうということは大事なことであり、そういった雰囲気づくりを大事にしていく必要がある。
- ・基本施策指標について、「AETによる英語時間数」「パソコンの時間数」といったものを進めるのもいいと思うが、それ以前の基礎的な学習の面に目を向けるべきではないか。

#### 基本施策13 生涯学習・生涯スポーツの推進

- ・生涯学習（社会教育）において、家庭教育をどのように充実していくかということが重要である。
- ・“家庭教育の充実”ということについて、「基本施策13 生涯学習・生涯スポーツの推進」の中で反映する必要がある。